

昭和の中頃を少し過ぎたあたり、僕がまだ小学生だった頃。両親が長期出張で海外に行く関係上、僕は秋枝（あきえ）叔母さんの家に預けられることになった。

叔母さんは爺ちゃんから継いだ建物の大家業を営んでいて、今住んでいるこのボロアパートもその一つだ。ボロいし田舎で不便なのだが、静かなのが好きらしく好んで住んでいる。

折角空き部屋が沢山あるのに、二人じて一部屋で住んでるなんて馬鹿っぽいけど、叔母さんの事が好きだった僕は世界に叔母さんと僕だけしかいない感じがして嬉しかった。

じゃあ、夕方には戻るからね。
ケン坊は洗濯とかよろしくね

いい子にして待ってるんだよ

うん！行ってらっしゃい！

僕たちは二階の一番奥の部屋に住んでいて、僕ら以外に住んでる人はいない。

スウー…
ハァー…

そして…ここからは
アシな話になるんだけど…

オナニする時はいつも押入れの
中でしていた。おかずはもっぱら
大好きな叔母さんの使用済み下着だ。

叔母さん…っ！
叔母さん…っ！

その日は叔母さんの脱ぎたてが
手に入った事で油断していて、
叔母さんが忘れ物をして
戻って来たのに気付かなかった。

ケン坊…？
何してるの？

その結果、あろうことか叔母さんに
痴態を見られてしまったのだ…

スッ

僕は叔母さんに洗いざらいを
話すハメになった。叔母さんが好きだった事、
叔母さんでオナニしていた事…
もう駄目だ、叔母さんには
嫌われてこの家からも
追い出されるんだ。
そう思った。

ケン坊は私の
ことが好きなの？

だ、大好きです…
小さい頃からずっと…

だけど、叔母さんの反応は僕の
予想していたものではなくて…

わ、私も昔からケン坊
好きだったよ…

え…

カチッ

私、男の人が怖くて…
でもケン坊は赤ちゃんの
頃から知ってるし、いい子だし…

うんうん

…もしケン坊が私の事
「そういう事」の対象として
見てるなら…

カチッ

そういう事…してる？



その時の記憶は興奮しすぎていたせいか
曖昧で、ただ叔母さんの柔らかくて暖かくて
気持ち良いマニコに猿みたいに腰振って
中出しした事しか覚えていない…

イ、イク！
叔母さん！イク！

パチュ♡

パチュ♡

ぬぷ

ぬぷ

ぬぷ

あ、あああ…

びゅっ ~…♡

事後、叔母さんが僕のちんぽを
丁寧に舐めてキレイにしてくれるの
を見て、僕はまたガチガチに勃起
してしまった…

結局その後、いつもなら寝る時間まで
ずっと、僕は叔母さんとセックスをした…

その後、僕と叔母さんは恋人の様な関係になった。

僕は叔母さんが前よりも更に優しくなったのを良いことに、えっちなお願いを沢山した…

普段少し冷たい感じの印象がする叔母さんが、困った様な感じでえっちなお願いを叶えてくれる事に最高に興奮した…

叔母さんの裸エプロン最高…

ケン坊…
これやっぱり恥ずかしいよ…

恥ずかしくて
ご飯作れないよ…

じゃ、じゃあ
すぐ済ましちゃうね

叔母さんの困った顔をたっぷり堪能した後、今度は叔母さんのおマンコをたっぷり堪能した…

びゅびゅ〜っ♡

びゅっ♡

動物園楽しかった？

うん！キリンが
交尾してたの
面白かった！

赤ちゃん出来るといいね

ケン坊…
私達も赤ちゃん…作ろうか…♡

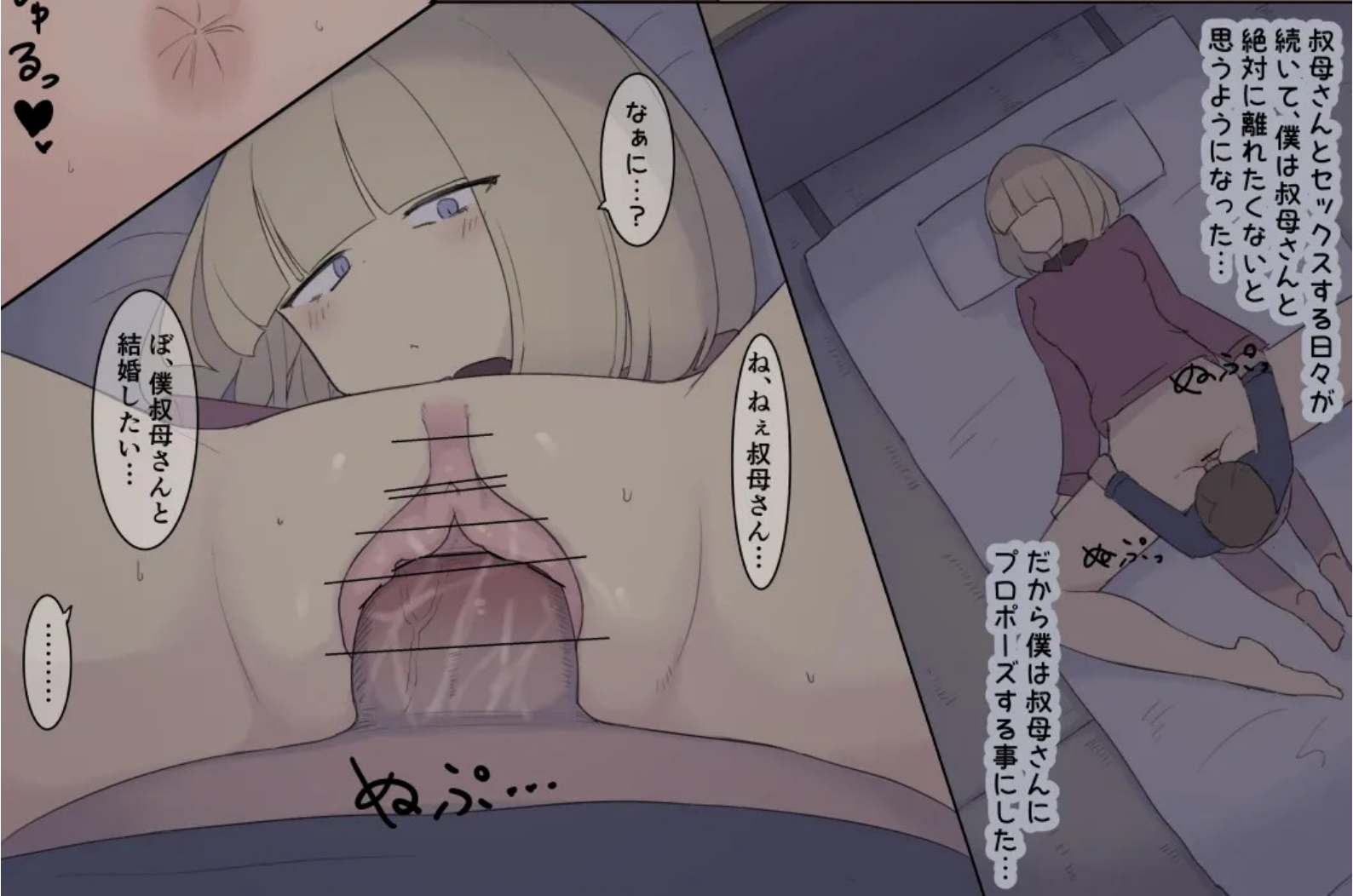
僕だけじゃなく叔母さんも
結構積極的で、僕たちは暇さえ
あればセックスしていた…



ケン坊…
叔母さんの中、
気持ち良い…？

うんっ！
温かくて
トロトロで…っ
最高…っ！

びゅるっ♡



なあに…？

ね、ねえ叔母さん…

ぼ、僕叔母さんと
結婚したい…

……

ぬぷ…



叔母さんとセックスする日々が
続いて、僕は叔母さんと
絶対に離れたくないと
思うようになった…

だから僕は叔母さんに
プロポーズする事にした…

僕…
叔母さんの事…
あっ、出、出るっ…

……駄目よ

びゅっ〜♡

ケン坊には私より
ちゃんとしたお嫁さんが
きつと来るからね
そしたら叔母さんとの事は
忘れなさい

ぬぽ…

そ、そんな…

…でも、たまには
会いに来てね…

待ってるから…

……………うん

ギュ…

後日談

その後、思ったよりも遥かに長く両親は帰ってこなかった。
僕は叔母さんを諦めきれなくてとにかく中出ししまくったら叔母さんが妊娠した。

出産後、両親が帰ってきたが、叔母さんが一人で子育ては大変だから手伝うと言ったら継続して叔母さんと同棲するのを許可され、その後もずっと叔母さんと一緒に住んでいる。

お、叔母さん出る…っ！

多分叔母さんは一生僕と結婚してくれないと思うけど、それならこれからも何かと理由をつけて、叔母さんとずっと一緒に暮らして実質結婚してる状態にしようと思う

ケン坊…
今日もいっぱい出たね…♡

びゅっ
びゅっ♡